

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【公表番号】特表2018-501373(P2018-501373A)

【公表日】平成30年1月18日(2018.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2018-002

【出願番号】特願2017-533433(P2017-533433)

【国際特許分類】

C 08 L	77/00	(2006.01)
C 08 L	67/04	(2006.01)
C 08 L	69/00	(2006.01)
C 08 L	71/02	(2006.01)
C 08 L	61/10	(2006.01)
C 08 J	5/06	(2006.01)
B 29 C	70/52	(2006.01)
B 29 C	70/48	(2006.01)
B 29 K	77/00	(2006.01)

【F I】

C 08 L	77/00	
C 08 L	67/04	
C 08 L	69/00	
C 08 L	71/02	
C 08 L	61/10	
C 08 J	5/06	C F G
B 29 C	70/52	
B 29 C	70/48	
B 29 K	77/00	

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

溶融状態で高流動性を有する熱可塑性組成物であって、

(a) 80から99.8重量%の、1種の熱可塑性ポリマー・マトリックス；

(b) 0.1から10重量%の、環状ポリエステルオリゴマーであって、2～25の重合度を有するオリゴマー；ならびに

(c) 0.1から12重量%の、1種のフェノールポリマー；

を少なくとも含み、

前記化合物(b)および(c)は、0.25～6、好ましくはおよそ0.75～2.75の範囲で変動する重量比(c)/(b)で存在する、組成物。

【請求項2】

前記マトリックスが、少なくとも1種のポリアミドを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記ポリアミドが、少なくとも1種の脂肪族ジカルボン酸と脂肪族もしくは環状ジアミ

ンとの重縮合により得られるポリアミド、少なくとも 1 種の芳香族ジカルボン酸と脂肪族もしくは芳香族ジアミンとの重縮合により得られるポリアミド、少なくとも 1 種のアミノ酸もしくはラクタムのそれ自体との重縮合により得られるポリアミド、またはそれらのブレンドおよび(コ)ポリアミドから選択される、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記ポリアミドが、前記ポリアミドの鎖に化学的に結合されたヒドロキシ芳香族単位を含む、請求項 2 または 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記ポリアミドが、1 0 0 0 0 ~ 5 0 0 0 0 g / モル の重量平均分子量 Mw を有する、請求項 2 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記ポリアミドが、PA 66、PA 6.10、PA 6.12、PA 12.12、PA 4.6、MXD 6、PA 6、PA 7、PA 9T、PA 10T、PA 11、PA 12、PA 6T / 6I、PA 6T / 6I / 66、それらに由来するコポリアミド、およびそれらのブレンドから選択される、請求項 2 ~ 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

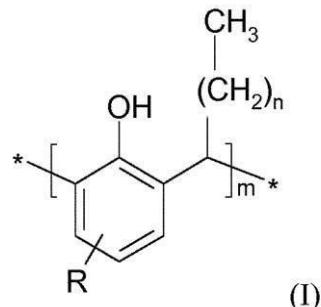
前記環状ポリエステルオリゴマーが環状ポリ(ブチレンテレフタレート)である、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記フェノールポリマーが、フェノールとホルムアルデヒドとの縮合の生成物である、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記フェノールポリマーが、以下の式(I) :



(式中、R は、水素原子、またはヘテロ原子を任意選択で含み、1 ~ 20 個の炭素原子を含む直鎖もしくは分岐アルキル基を表し、m は、6 ~ 15 であり、n は、5 ~ 22 である。)

の単位を含む、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 10】

強化布地またはプレフォームに溶融状態の請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の組成物を含浸させる少なくとも 1 つの工程を含む、複合材料物品を製造するための方法。

【請求項 11】

好ましくは直接射出による、引抜プロセス、または密閉成形射出による RTM プロセスである、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 12】

請求項 1 0 または 1 1 に記載の方法によって得られた複合材料物品。